

「フランス南西部への旅 ～太古・中世・近代の遺跡を訪ねて」に参加したい、でも…。ということで、Sさんに飛行機や宿の手配、旅程作成、通訳のすべてをお任せしてのフランス旅行。

9月9日、リモージュ駅で原野先生のツアーにばったりお会いし、その興奮も冷めぬまま勇んでバス停に向かった私達は、日曜でオラドゥール行きのバスが運休(!)なことを知り、オラドゥールはこの旅の第一目的だからと、奮発してタクシーで向かいました。

8時10分頃、オラドゥール着。朝市のようなものが開かれていて、博物館が9時開館だったので、そこを見ながらぶらぶらしました。市というより、衣類や食器、おもちゃなど、家庭の不用品を並べたバザーのようでした。町の教会も見て、9時に博物館を抜けて遺跡に行きました。

学校や商店、教会、墓地、軽便鉄道の線路。ここで人々が生活していたことが感じられ、廃墟というより、杉山先生の本にあった、食堂で料理の一品サービスに喜ぶ人たちが想像できるような町並みでした。天気も良く、気持ちのいい朝で、さっき見た朝市は、ここで開かれていたかも、と思うと不思議な気がしました。

保田 弘子【2018.9.27】